

2013年度 一般社団法人西宮青年会議所  
拡大青少年委員会活動報告書

委員長 山口 真一郎

【2013年度事業概要】

1. 3月度例会の開催

・テーマ：笑顔あふれる未来へ向けて

開催日時：平成 25年 3月 19日（火曜日）

開催場所：ノボテル甲子園

主旨：本例会を通して親世代であるメンバーが、どのように取り組めば青少年の健全な育成の向上に繋がり、模範となる大人の背中を示すことができるかを学んでいただきます。また、一般の方々の意見も取り入れながら、「大人の背中」について考えていただく場を提供させていただきました。

2. わんぱく相撲 開催

・テーマ：わんぱく相撲

開催日時：平成25年 5月 12日（日曜日）

開催場所：今津小学校

主旨：昨今、子供たちの環境は、核家族化や両親の共働きの増加になどにより、勉強や遊び方、人との接し方が大きく変化し直接的なコミュニケーションが少なくなっています。それに伴い相手への思いやりや礼儀など日本の良き心も失われつつあります。相撲を通じて子供たちが本気で身体をぶつけ合い「他を慮(おもんばかり)る利他の精神」を養う場となるよう本大会を実施しました。

4. 震災復興特使事業の件

開催日時：平成 25年 10月12、13日（土、日曜日）

開催場所

被災地訪問 : 津波被害地豊間中学校正門、薄磯町地内（予定）

合同練習 : 好間中学校グラウンド（予定）

ホームステイ : 福島の子どもたちを甲子園にプロジェクト参加中学生の自宅

主旨：西宮市震災復興特使を認定し、野球を通じて福島の子供たちと交流を図り、友情を育んでいただきます。そして被災地訪問を含め、福島の子供たちとの交流の中で感じたこと、被災地の現状、今必要とされている支援などについて学ぶ中で、大震災の脅威を理解し、日本人ならではの助け合いの精神を身につけていただくことを目的としました。

【一年間を振り返って】

初委員長にして、学ぶことが大変多い1年間でした。1年を通じて、親世代であるメンバーが、どのように取り組めば青少年の健全な育成の向上に繋がり、模範となる大人の背中を示すことができるかを学んでいただきたいという思いで委員会運営を行ってきました。今年度は、新入会員が各委員会に配属されるという新たな試みの中で始まった委員会活動でした。戸惑いもありましたが、委員会メンバーをはじめ多くの方々に支えられ職務を全うできたと思っております。

3月度例会、わんぱく相撲、西宮市震災復興特使事業と盛りだくさんの担いでありましたが、各事業に参加いただいた子供たち、保護者のみなさま、各種行政機関のみなさまのご協力に本当に感謝の言葉しかございません。

委員会メンバー、年初、私の事情で委員長不在の中、本当に一致団結して3月度例会を作り上げてくれました。この1年間のみなさんの友情に感謝すると共に、自分の人生において忘れられない1年間となったことをうれしく思います。

阪下副理事長、藤田常任、文句ばかりのややこしい委員長だったと思いますが、お二人のご指導があって委員長職が全うできたと感じております。本当にありがとうございました。

最後に、大迫理事長、56名拡大を年初から掲げておられましたのに、目的達成できず、申し訳ありません。

ん。しかし、委員長という大きな役職を私に与えてくださり、自分の人生において素晴らしい経験をさせて  
いただきましたことに、感謝の言葉しかございません。ありがとうございました。

次年度は役職も変わりますが、今年させていただいた経験をもとに、更なる飛躍を遂げたいと思っております。

本当に、皆様、ありがとうございました。

#### 活動報告

委員会 15回開催

スタッフ会議 17回開催